

教育センター通信

ほ　ど 火床の火の心を紡ぐ

第3号

平成25年10月18日

三条市小中一貫教育推進課

発行：教育センター

三条市の学校教育目標

未来を拓き、力強く生きるための「確かな学力」「豊かな心・個性」「健やかな身体」をもった三条っ子



アトラクションで栄中学校吹奏楽部が演奏

巻頭言

三条市教育委員会教育長の長谷川正二でございます。

教職員の皆さまにおかれましては、日頃から三条市の子どもたちのために、教育活動に熱心にご尽力いただいておりますこと、取り分け、小中一貫教育につきましては全面実施となった4月より、各学校におきまして着実に実施いただいておりますことに改めて深く感謝申し上げます。

さて、去る8月29日、教育センターがございます市役所栄庁舎におきます改修工事が終了したことから、國定勇人市長をはじめ、関係各位の出席をいただき、教育センター並びに子どもの育ちサポートセンターの竣工式が執り行われました。この度の改修で、2階には新たに相談室が、3階にはステージや大型スクリーン、プロジェクター、質の良い音響施設等を設えた120人程度が収容可能なホール、最新の機器を備えたメディアルーム、また、子育て支援課の所管となります子ども発達ルーム等が新たに整備されました。これらの施設を有効に活用しながら、教育委員会をあげて、これまで以上に教職員の皆さまへの支援、子どもたちや保護者の皆さまへの支援を充実させてまいり所存でございます。

ところで、この教育センター通信も今号で今年度の3号目となりましたが、施設の竣工後、初の発行となったことから、名称を標記のとおり『火床の火の心を紡ぐ』といたしました。三条の町は昔から、鍛冶が盛んに行われており、それが現在における『金物のまち』、『ものづくりのまち』三条として全国的に名を馳せることに繋がっております。名称に使用した『火床の火』とは、鉄を加工するための加熱する炉のことを言い、金物を生産するに欠かせないものです。言い換えれば、ものづくりの原点であり、長い年月受け継がれてきたものづくりの精神を象徴する言葉とすることができます。

三条の将来を担う子どもたちの成長にかかわる全ての者が、『火床の火』の心を大切にしながら、子どもたちに三条を愛する気持ちを育て、たくましく生きる力をもつ『三条っ子』を育ててまいりたいと思います。どうぞ、教職員の皆さまのお力を存分に発揮していただきたくお願い申し上げます。

教育センター・子どもの育ちサポートセンターの竣工式を開催

8月29日午前10時から、来賓及び市内小中学校校長、教育委員会事務局職員が参列し、標記の竣工式を挙行了しました。國定市長式辞、熊倉市議会議長祝辞に引き続き、ファンファーレが鳴る中、テープカットが行われました。



その後、議場を改装した「ホール」で栄中央保育所、栄地区の小中学校の児童生徒による、竣工記念のアトラクションが行われました。大勢の保護者・地域の方々が見守る中、元気あふれる演技・演奏が披露され、ホールの完成を喜び合いました。

午後1時～5時、新たに設置された「相談室」や最新のICT機器を備えた「メディアルーム」、就学前のお子さんを支援するための「子ども発達ルーム」、講演会やコンサートなどの開催も可能な音響施設とステージを兼ね備えた「ホール」を開放し、【施設見学会】を実施しました。

アトラクション(園児、小学生)



栄中央保育所年長組：遊戯



栄中央小学校2年生：歌&ダンス



大面小学校2年生：歌&鍵盤ハーモニカ



栄北小学校6年生：一輪車&リズムダンス

教育センター施設紹介



教科書センター(3F)



メディアルーム(3F)

教育センターの概要について

1 設置目的

- (1) 小中一貫教育の全体的な推進及び実践的研究と研修を推進します。
- (2) 子ども一人一人の実態に応じたさまざまな支援を行います。
- (3) 教師一人一人の実態に応じたさまざまな支援を行います。

2 主な事業

小中一貫教育の推進

- (1) 小中一貫教育に係る各種委員会等の運営・支援
- (2) 小中一貫教育に関する調査・研究及び点検・評価

教職員研修・講座

- (1) 基礎研修
 - ・転入・新任者のための小中一貫教育の理解を深める研修
- (2) 実践研修
 - ・小中一貫教育を通して学力の向上を図る研修
 - ・小中一貫教育を通して人間関係を豊かにする研修
 - ・小中一貫教育の視点を生かした各種教育研修
- (3) 充実発展研修
 - ・管理職・推進リーダー等のための小中一貫教育の実践力を高める研修
- (4) 教職員支援研修
 - ・新人・中堅教職員の資質・技能の向上に向けた研修
- (5) 刃物・ものづくり教育推進事業
 - ・三条市の伝統文化を理解するための研修・講座
- (6) 科学教育推進事業
 - ・科学教育を通して教職員の資質・技能の向上に向けた研修・講座

教育相談

- (1) 不登校・問題行動等で悩みを抱えるお子さんへの支援
 - ・不登校・問題行動等で悩みを抱えるお子さんや保護者等の相談に対応し、継続的に支援します。
- (2) 特別な支援を必要とするお子さんへの支援
 - ・特別な支援を必要とするお子さんや保護者等の相談に対応し、継続的に支援します。
- (3) 教職員への相談支援
 - ・学習指導・生徒指導・学級経営・不登校・いじめ・発達障がい等に関して教職員を支援します。

センター利用時間・休館日

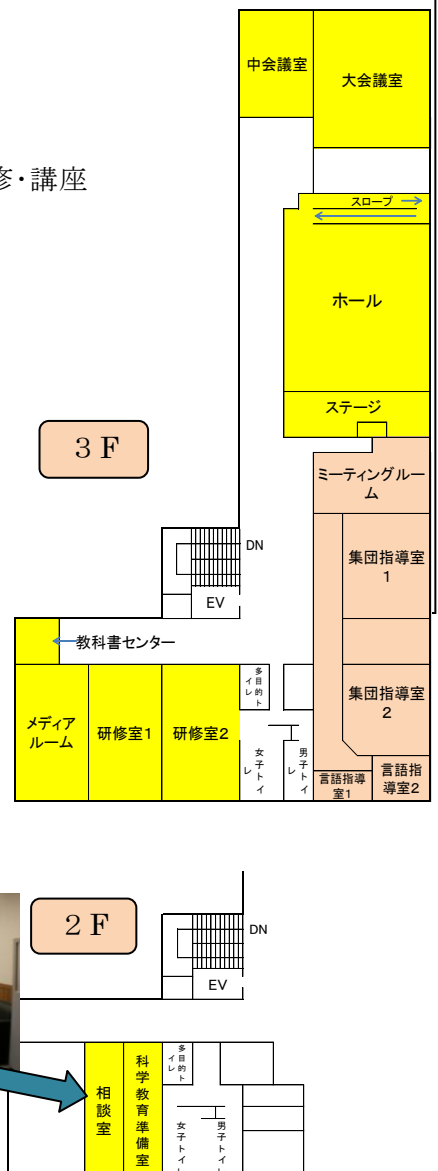
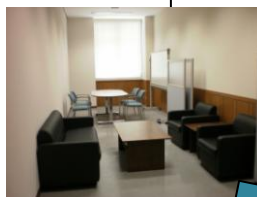
- ・利用時間…午前8時30分～午後5時15分
*あらかじめ申し出がある場合は延長できます。
- ・休館日…土曜・日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）

貸出施設の利用〈ホール・大会議室・中会議室〉

- ・利用時間…午前8時30分～午後9時30分
- ・休館日…年末年始（12/29～1/3）
*施設の利用は事前の予約が必要です。

問い合わせ先

- ・教育センター
- ・TEL 0256-45-1116 FAX 0256-45-5309
- ・E-mail : kyouikucenter@city.sanjo.niigata.jp



わくわく科学フェスティバルを開催

8月7日、三条市栄体育館で第9回「わくわく科学フェスティバル」を開催しました。三条市は、独自の特色ある教育の一環として科学推進事業に力を入れており、三条市内の小中学校の児童生徒に対して、科学への興味関心を掘り起こし、科学的な好奇心と研究意欲を高め、問題解決能力と創造性を育むために、実行委員会を組織し、科学ゼミナール、子どもの科学教室、科学・模型工作教室、わくわく科学フェスティバル等を開催しています。

メイン事業となるわくわく科学フェスティバルは、今年度で9回目を迎えました。今回は16のブースを設け、約800人の幼児、小中学生、保護者が、いろいろな実験や体験、モノづくりなどを行いました。

ブースを展開していただいた長岡技術科学大学、長岡造形大学、NPO 良環、NPO 星空ファクトリー、三之町病院、第一中学校科学部、理科教育センター等の多くの指導者と活動支援スタッフに支えられ、笑顔と歓声にあふれたものとなりました。



開会式 國定市長が歓迎の言葉を述べる



「色変わりCDコマを作ろう」
長岡技術大学



「かさぶくろ飛行機をつくろう」
(株)コロナ



「針金で作ったアメンボを浮かせてみよう」
燕中等教育学校

ハイパーQU 研修会を開催

8月9日、燕三条地場産業振興センター（リサーチコア）で、市内教職員対象の標記の研修会を開催しました。今年度、小中一貫教育の全面実施を契機に、全小中学校でハイパーQUを実施したことを受け、開発者の早稲田大学河村茂雄教授による講演会を開催したものです。



当日は、市内小中学校の教職員280人が参加しました。河村教授の「クラス集団の状態をアセスメントすることは、学級づくりの重要な第一歩である。ハイパーQUのデータをもとに、小中一緒に事例研究をやりたい。中学校は小学校を、小学校は幼稚園の対応の様子を見ることがソフトランディングにつながる。」など、学級づくりにおける小中連携の重要性、必要性が伝わってきました。